令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

計名等	等 下水道事業会計 設置目的 公共用水域の水質の保全				向上を図る。
予算	項目		令和2年度	令和元年度	増減
		収入	904, 948	664, 786	240, 162
		下水道使用料	285, 168	275, 425	9, 743
		主な内訳 他会計補助金(一般会計繰入金)	365, 226	386, 773	△21, 547
		長期前受金戻入	170, 260	_	170, 260
	3条予算	資本費繰入収益(一般会計繰入金)	54, 593	_	54, 593
	(収益的収支)	支出	981, 087	500, 343	480, 744
	Ī	流域下水道維持管理費	298, 901	280, 971	17, 930
		主な内訳が減価償却費	470, 617	-	470, 617
		支払利息及び企業債取扱諸費	120, 409	136, 172	$\triangle 15,763$
		差引	△76, 139	164, 443	△240, 582
		収入	596, 232	725, 764	△129, 532
		企業債	433, 300	477, 200	$\triangle 43,900$
		主な内訳 他会計補助金(一般会計繰入金・基準内)	43, 676	98, 202	$\triangle 54,526$
	4 条予算 (資本的収支)	他会計出資金(一般会計繰入金・基準外)	103, 584	85, 525	18, 059
		支出	819, 843	890, 207	△70, 364
		建設改良費(公共下水道)	54, 585	143, 400	△88, 815
		主な内訳 建設改良費 (流域下水道)	47, 492	41, 500	5, 992
		元金償還金	717, 766	705, 297	12, 469
		差引	△223, 611	△164, 443	△59, 168
算概要 算の特徴)	【3条予算(収益的収支)】 下水道使用料は、供用開始による新規接続を見込み、前年度比で9,743千円の増額としている。 支出では、支払利息が減となったものの、流域下水道維持管理負担金の増及び減価償却費の新規計上等により、前年度比で480,744千円の増としており、の収支差引(不足額)は、76,139千円である。 【4条予算(資本的収支)】 施設概成に伴い大規模な工事は行わないものの、滝馬川改修に伴う管渠移設の詳細設計、新し尿処理施設の整備に伴う公共下水道計画の変更等を実施すこととしており、その収支差引額(不足額)は223,611千円である。				
考 排記事項)	・令和元年度に施設概成。 (整備状況: 473.9ha/502.7ha 94.3% 接続状況(平成30年度末実績): 10,549人/12,448人 84.7%) ・令和2年度から公営企業会計を適用。 ・公営企業会計を適用する初年度であり、資本的収支不足額の補てん財源が、当年度損益勘定留保資金(減価償却費-長期前受金戻入+収支差引額) のみとなるため、財源不足が生じないよう、他会計出資金として基準外の繰入金を計上した。 ・今後の基準外繰入金の取扱いは、事業の執行状況及び経営戦略での収支シミュレーションを踏まえ調整を図る。				
	建設部 上下水	道課 管理係		TEL	45-1633 特 9